

ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア
東京都文京区音羽1丁目1番7号
正進社ホールディングスビル 4F
2019年9月吉日



新ブランド「DE BAER」取扱開始と アナログ・システム発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り篤く御礼申し上げます。

この度弊社では、スイスより新ブランドとなる「DE BAER(ディ・ベア)」社の国内輸入販売業務を開始いたしますとともに、同社が開発したアナログ・システムを発売致しますことをご案内申し上げます。

発売致します製品は、独創的なアイデアによる革新的構造、同社の結実した技術を惜しみなく注ぎ込んだリファレンス・アナログ・ターンテーブル「Topas (トパーズ)」、そしてオリジナリティ溢れる設計によりレコードに刻み込まれた音楽情報を余すことなく純粋に再生する、アナログ・トーンアーム「Onyx (オニキス)」の2点となります。

つきましては添付の資料をご高覧いただき、ご試聴ならびにご検討いただけましたら幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

■ブランド名

DE BAER (ディ・ベア / スイス)

■機種名 / 製品名

Topas (トパーズ) / アームレス・アナログ・ターンテーブル

Onyx (オニキス) / アナログ・トーンアーム

■希望小売価格 (税別)

- ・ Topas アームレス・アナログ・ターンテーブル ￥6,300,000 (1台)
(12inch / 9inch ダブルアーム対応)
- ・ Onyx アナログ・トーンアーム 12inch ￥1,680,000 (1台)
9inch ￥1,630,000 (1台)
- ・ 別売オプション VTA 調整機構付アームボード単体 ￥380,000 (1台)

* Onyx アナログ・トーンアームには、
VTA 調整機構付アームボードが付属されています。
別途ご購入の必要はありません。

■発売日

2019年(令和元年)9月6日

以上

■ DE BAER について

DE BAER は、2015 年秋 Kurt Baer（クルト・ベア）氏によってスイスで設立されたブランドです。ミュンヘンのハイエンド・オーディオショウで初めてそのターンテーブルが公開された際には大きな話題となりました。

無人航空機の精密部品を手掛ける Jetmax 社のスタッフ 10 名により各パーツが高精度で製造された後、開発者でありブランド創立者の Kurt Baer 氏によって 1 台 1 台が手作業で組み上げ、品質管理が行われています。

■ Kurt Baer 氏について

Kurt Baer 氏は、スイスの高級ブランド家具の設計開発を生業とする傍ら 40 年以上の永きにわたり熱心なオーディオファンでもありました。

家具業界にて得た多くの知識や技を、オーディオにも活かす事で、様々なコンポーネントを組み合わせ、改良し、素晴らしい音を追求していました。

そして自身の蓄積したオーディオ研究を基に、いくつかの微細な技術が製品の大きな音質改善につながることを発見しました。

「このアイデアが本当に音質を向上させるのか？」という彼の強い探求心。最もアナログ再生に影響をもたらすターンテーブルの製作は、彼の理論とその探求心の具現化でした。そして完成されたターンテーブルからは、かつてない著しく向上したサウンドが奏でられました。

彼は自分の考えが間違っていなかったことを確信し、さらに音質を追及したターンテーブルのデザインに取り組みました。

2011 年、彼は無人航空機のためのジェットエンジンを製造する精密技術に携わる企業である Jetmax 社と運命的な出会いを果たします。

この Jetmax 社において、Kurt Baer 氏は精密部品をデザイン・開発しさらに自身の技術と経験を深めるとともに大きな出資を得ることに成功しました。

2013 年、彼のアイデアにより今までになかった革新的なターンテーブルが完成しました。試作機は即座に完売となり大きな話題を呼んだことで 2015 年、ブランドを立ち上げることに至りました。



Kurt Baer 氏 近影

リファレンス・ターンテーブル

Topas



特長

- ・超精密技術により実現した回転軸のマグネット・フローティング機構
- ・振動、共振を最極限に抑えるためのデカップリング・ベアリング構造
- ・外部からの振動を防ぎ、S/Nを向上させる、特性の異なる素材を組み合わせたキャビネット
- ・トーンアームの取付と交換を容易にし、振動と共振をシールドする超硬質ボール接点支持機構

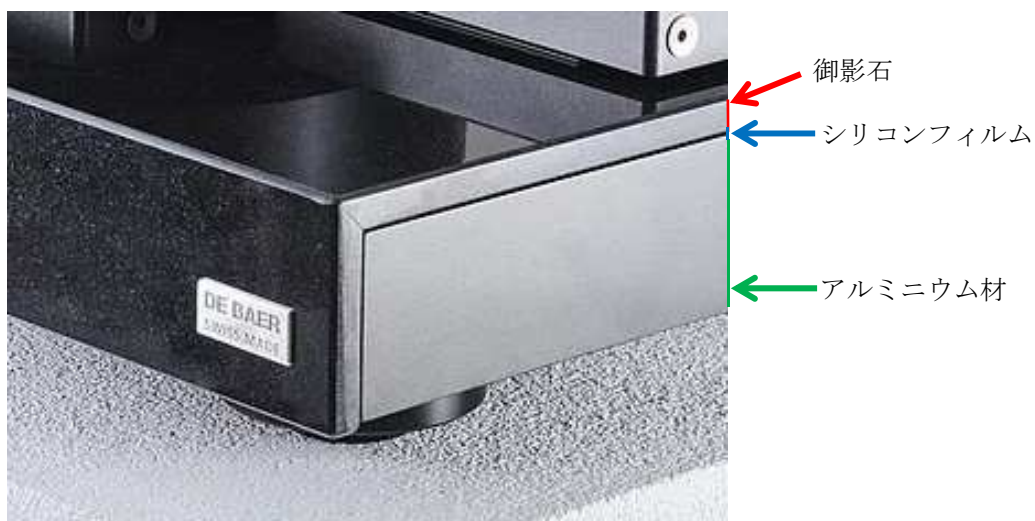
トパーズのキャビネットは主に御影石を採用、プラッターに POM（ポリオキシメチレン）材を使用したショート / ロング 2 アーム対応のベルト・ドライブ機構、マグネットフローティング・ターンテーブルです。

創業者であり設計者でもある Kurt Baer 氏の豊富な知識と経験、独自性あふれるアイデアにより実現したディ・ベア社のリファレンス・ターンテーブルです。

外部からの振動、それぞれのパーツ素材に存在する固有の共振を極限まで抑制することに成功したことで、広大なサウンドステージとプレゼンスを如実に感じ取れる圧倒的な静寂感を実現しました。

【キャビネット構造】

メインキャビネットには、美しいデザインの基となる厳選した御影石とアルミニウム材、それらの中にはシリコンフィルムを使用。異なる素材の 3 重構造とすることで、キャビネット自体の共振や振動を防ぎます。



【プラッター構造】

■アウター・プラッター部

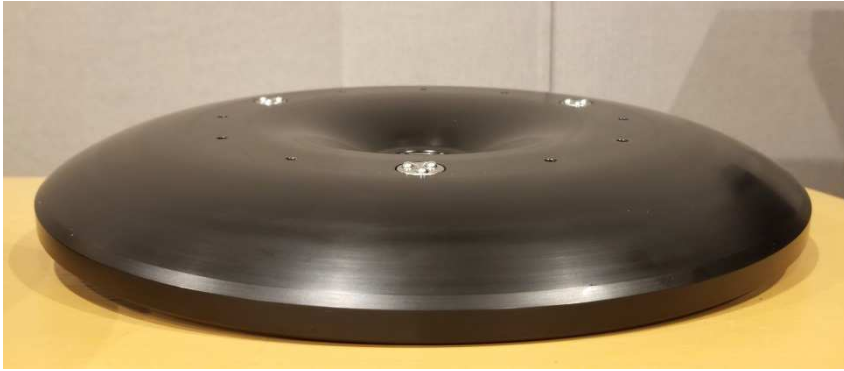
共振の発生を最小限に抑制しようと多くの研究を重ねた結果、レコードと接するアウター・プラッターは POM 材を使用した独創的な 2 重構造を採用。

そのセパレートされたプラッター間の 3 ヶ所、すり鉢状に窪んだ下部プラッターには大きめの超硬質可動ボール 1 個を、そして山状に膨らんだ上部プラッターには小さめの超硬質ボール状突起 3 個を、それぞれに使用しています。結合時に接触する面積が極端に小さくなり、レコードを載せる上部プラッターと、モーターの影響を受けている下部プラッターとの共振干渉を極限までに抑え込んでいます。

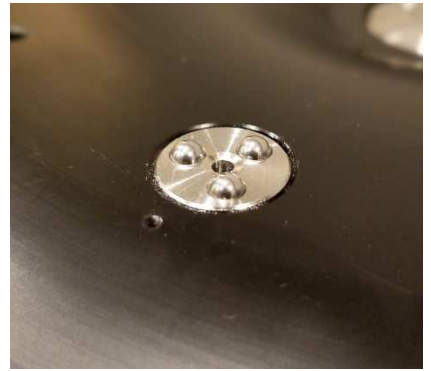


アウター・プラッター全体

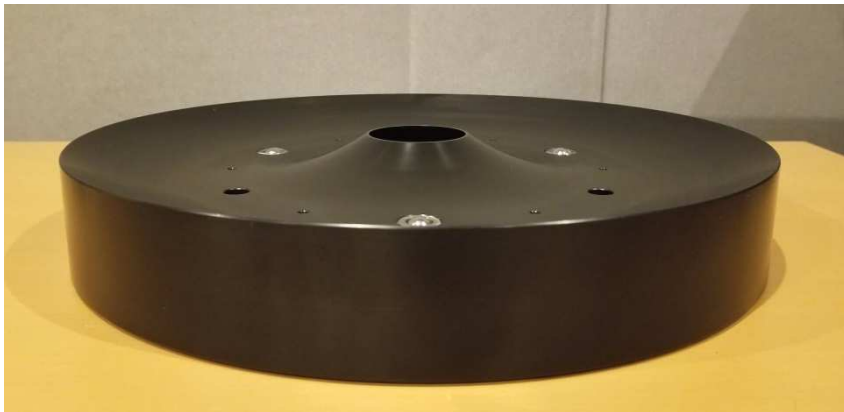
上部プラッター



3点のボール状突起 (小)



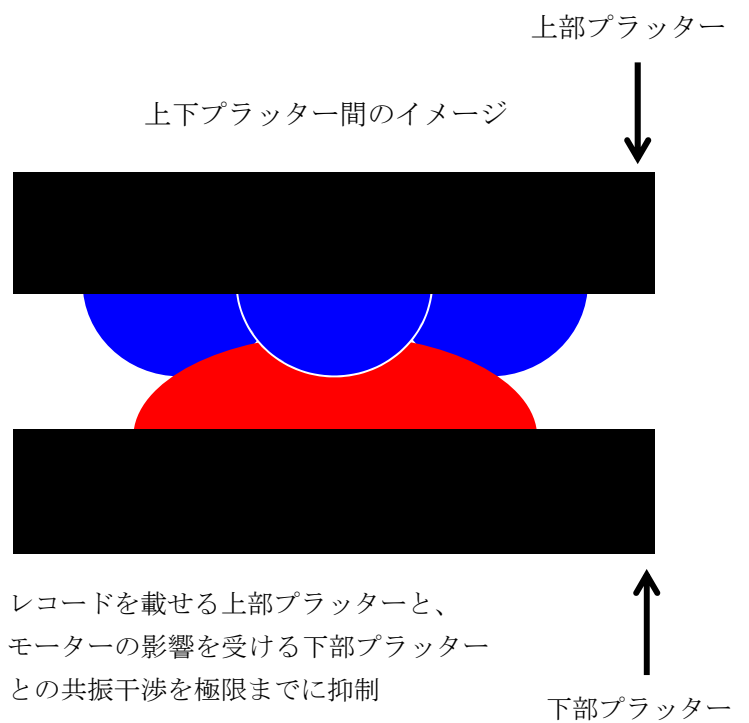
下部プラッター



1個の可動ボール (大)



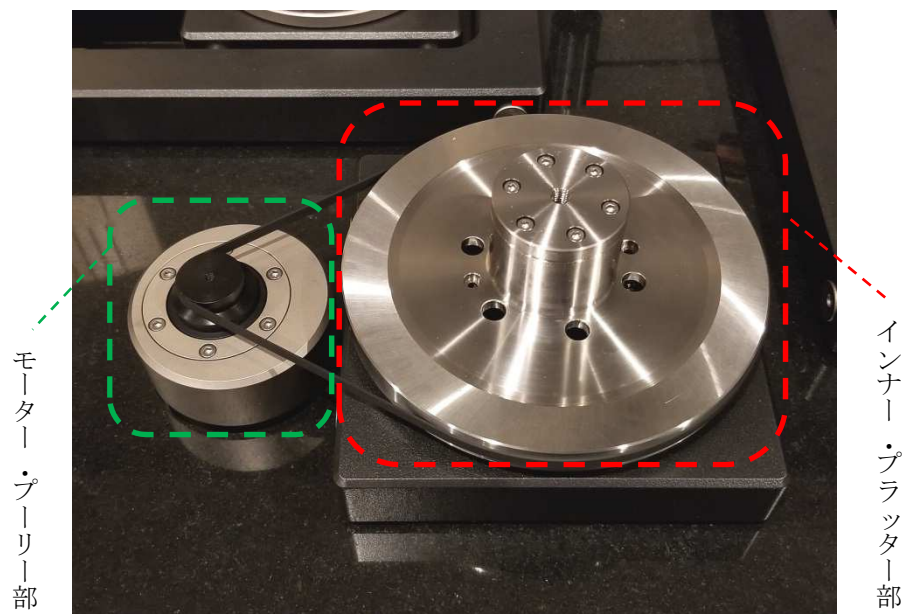
上下のプラッターを結合させると・・・



■インナー・プラッター部

インナー・プラッターが回転しているダブルベアリングは耐摩耗性、耐腐食性に優れた砲金製を使用。最高精度の精密加工により組み上げられた回転軸は 2 つの反発するネオジム製の強力なマグネットが縦方向に作用しターンテーブルを浮かせるとともに、スムーズな回転を超長期間得られるようにダブルベアリングのハウジング内をオイルで満たしています。

プーリーのモーター部は回転することが出来、ベルトのテンション具合を調整可能。



モーター部を回転できることで、プーリーの位置は変わり、ベルトのテンション具合を調整可能。(右図参照)



【モーター部】

インナー・プラッターを強力に回転させるモーターには最新の DC モーターを使用。

33 1/3 回転と 45 回転に対応し回転の切替はスムーズなロータリースイッチにより感触のよいコントロールを実現し、又モーター作動時中は 1 回転毎におよそ 100 回マイクロコンピューターでモニターすることで、回転変動の無いように安定的にコントロールされています。

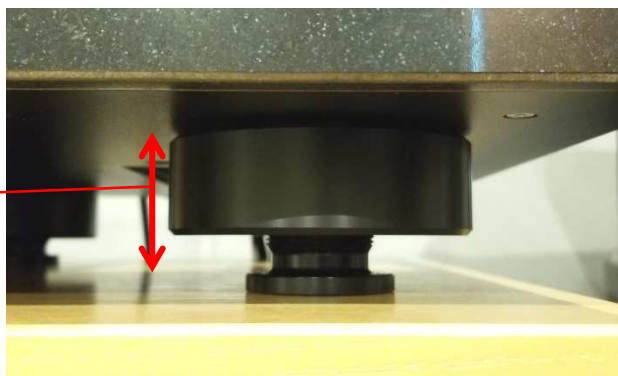


ロータリースイッチ

【フット部】

本体のフット部には耐応力特性や膨張率、耐用温度範囲が広く安定した POM 材を使用。ターンテーブル自体の振動だけでなく、外部からの影響を最小限に抑制します。3 点支持となっているフットは全て高さ調整が出来るように可動（回転）式となっていることで、外部のアクセサリーを使用することなく、ターンテーブル単体で水平を確保する事ができます。

回転することで、高さを上下する事が可能。ターンテーブル単体で水平を確保できます。



【スタビライザー】

POM 材と金属の 2 重構造になった重量 450g のスタビライザー。レコードとプラッターを密着させます。



【トーンアーム取り付け部】

トーンアームの取り付け部にはアルマイト加工処理が施されたアルミニウム材を使用。さらにキャビネットの共振・振動をトーンアームに伝播することがないように、アウター・プラッター同様の超硬質ボール接点支持による外部振動とのデカップリングが図られています。

可動式のアームボードによりショートアームからロングアーム（9～12インチ）まで、多くのトーンアームに対応が可能なダブルアーム仕様、シングルアーム仕様に変更する事も可能です。



拡大図



プラッターと同様に3点のボール状突起(小)と1点の可動ボール(大)で構成し接点を極小化



取り外し時

アナログ・トーンアーム

Onyx



画像はショートアームの9インチ。ロングアームの12インチもございます。

特長

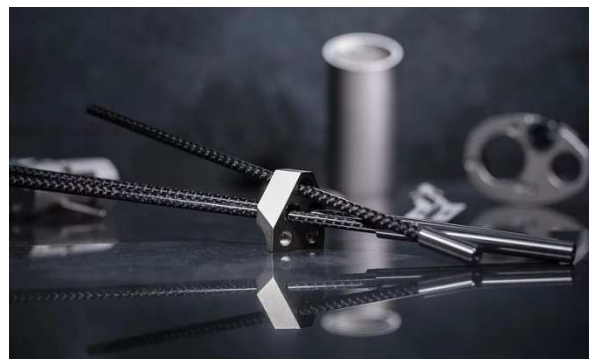
- ・完璧なチャンネル・セパレーションを実現するカーボン・ロッド・アーム
- ・超精密加工技術により実現したピボット部のマグネット・フローティング機構
- ・振動、共振を最小限に抑えるためのデカップリング・ベアリング構造
- ・微細な針圧の調整を可能とする、2重構造のスプリング式カウンター・ウェイト

【アーム部】

美しいデザインと機能美を追求しながら、最適な信号伝送を実現したトーンアームです。

軽量のカーボン・ロッドを3本組み合わせ、ロッドを引っ張ることで安定性を高めるとともに共鳴を最小限に抑えています。さらに長尺の12インチでは、3本のロッドを途中で締め付けて更に共鳴の発生を抑えています。

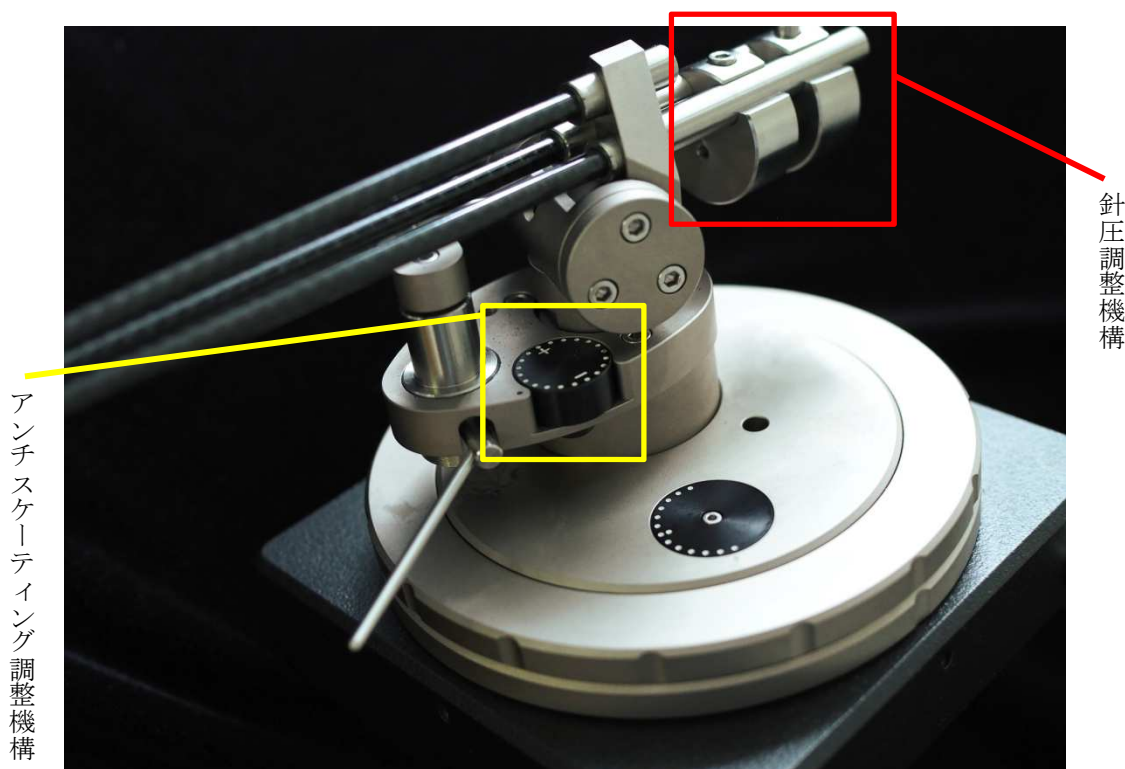
このカーボン・ロッドのうち左右2本に1チャンネルずつケーブルを納めることで、L/R信号が完全に独立した、完璧なチャンネル・セパレーションを実現しています。



【ピボット部】

ピボット部には水平/垂直方向に配置された高精度のボールベアリングを搭載。さらに水平/垂直方向にマグネット・フローティングさせることで、極限まで不要な振動、共振を受けないような設計を施し、低摩擦で滑らかな動きを実現。またマグネットの反発作用により、レコードをトレースする際に、いつでもセルフセンタリングされることで、カートリッジのトレース力を最大限発揮し、レコードに刻み込まれた音楽を忠実に再生する設計となっています。

超精密加工技術により実現した、オイル・ダンプ式のアーム・リフターは、滑らかで繊細なリフトを可能とします。



【針圧調整機構】

針圧調整にはカウンター・ウェイトを用いたスタティック・バランスを採用。

2基構成のカウンター・ウェイトはその間にスプリングを仕込んでおり、針圧の微細な調整が可能となっています。

【アンチスケーティング調整機構】

アンチスケーティングを調整するつまみとトーンアーム部の内部に相互に反発するマグネットを内蔵したことで、反発作用を利用した綿密で且つシームレスな調整が可能です。

【ヘッドシェル部】

カートリッジ取り付け部には長穴を採用し、様々なカートリッジを取り付けた際にオフセットアングルが調整可能な他、アジマス(水平)の調整も可能なことで、ご使用のシステムに合わせた綿密な設置を実現します。



■ オプション

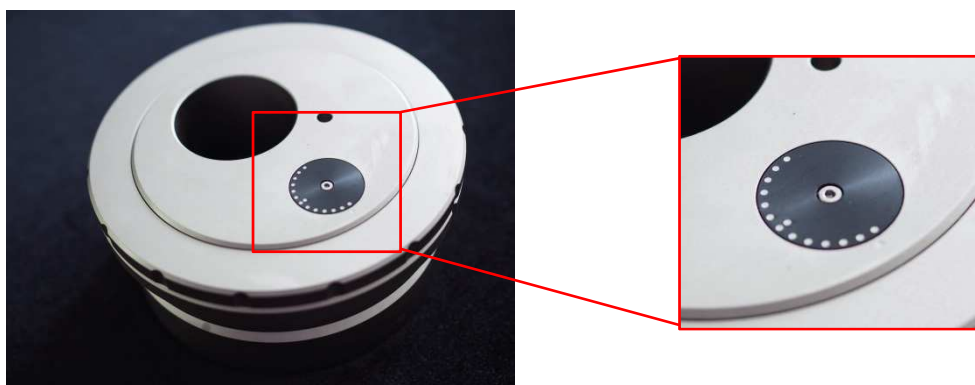
【コネクタ部】

高音質な WBT コネクタを採用した RCA の出力端子、ご注文時の指定により 5Pin-Din コネクタも選択できます。



【VTA (パーティカル・トラッキング・アングル) 調整機構付アームボード】

演奏中でもトーンアームの高さを変えられることで VTA を調整可能な VTA アームボード。オイル・ダンブによる滑らかな動きと、上下 6mm(1 目盛り=1mm)の範囲でシームレスな調整ができ、非常に大切な針先とレコードの音溝設置角の微細な調整を、演奏音を聴きながら可能とする超高精度のシステムとなっています。



Specifications

【Topas】

形式	アームレス ベルト・ドライブ式アナログ・ターンテーブル
モーター	DC モーター
対応回転数	33-1/3、45 rpm
対応アーム	9~12 インチ 2本
寸法	W660 × D515 × H240 (スタビライザー装着時 270) mm
総重量	50kg

【Onyx】

形式	スタティック・バランス型アナログ・トーンアーム
ヘッドシェル	Fixed head
スピンドル中心から	9 インチ : 213.35mm
取付位置中心まで	12 インチ : 295.6mm



Onyx 12 インチ装着時画像

Handmade in Switzerland